

不登校児童への対応について

平成30年度 熊谷市立三尻小学校

1 不登校児童対策チームの徹底

(1) ねらい

不登校児童が出た場合、不登校児童対策チームを結成して担任と連携しつつ、児童・保護者に対応し、不登校の解消に努める。

(2) チームの構成メンバー

校長、教頭、教務主任、教務、生徒指導主任、学校教育相談主任、特別支援コーディネーター、養護教諭、該当学年の担任、該当学年主任

(3) チームの主な仕事

ア該当児童の担任から情報を収集し、対策を立て児童、保護者等に積極的に働きかけを行う。

イ不登校に至る真因や誘因の分析や究明、不登校児童への支援の方法を検討し、不登校再発の防止に努める。

ウ必要であれば、学校以外の他機関（さわやか相談員、ボランティア相談員、児童相談所、教育センター、医療機関、警察等）との連絡や指導を仰ぐ。

(4) 備考

・チームの会合や働きかけは、必要に応じて時間に関係なく行われる場合もある。

・緊急時、校長がいない場合は教頭

校長、教頭がいない場合は教務主任

校長、教頭、教務主任がいない場合は、生徒指導主任、教育相談主任が指揮をとる。

不登校児童への対応

- 1 無断欠席の場合は、業前の活動前（後）に家庭に連絡を取る。親の了解を得て、チームの誰かが迎えに行く。

電話で連絡がとれない家庭にはチームの誰かが迎えに行く。

- 2 放課後、退勤時に担任が家庭訪問をし、次の日の連絡をする。

注 必要に応じて、児童の実態に合わせて…

- 3 担任は、不登校児童の記録をとっておく。

欠席、遅刻、早退日数及びその時の児童の様子。担任が働きかけたこと、支援したこと。

チームで話し合われた対策や指示を受けたこと。学校での児童の様子。その他。

- ※ いじめ問題への対応についても、同様の対策チームを結成して対応し、いじめの早期解消に努める。